

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	Q-U 調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方 <span style="float: right;">（※反復開講）</span>						
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	プログラム指標 （しまだい）	子ども支援				
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）			
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）	○		
	充実・円熟期（20年目以降）			発展（大学院レベル）			
開設日	令和8年8月4日（火）午前	時間数	3時間	受講定員	30名		
会場（対面）	鳥取県教育センター		所在地	鳥取県鳥取市湖山町北5-201			
授業形態	講義、ワークショップ	対象校種	幼	小	中	高	特
				◎	◎	○	○
実施方法	※対面（集合型）	対象教科	全教科				
		対象職種	広く学校教育関係者				
担当講師	かわまた りえ（島根大学教職大学院 准教授）						
研修内容	児童生徒理解や学級集団の理解に活用されているQ-U調査について、理論的な背景や結果の分析の仕方を学び、生徒指導や教育相談、学級経営など、日々の教育実践にどのように役立てることができるのかについて考える。						
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。					
	8:40～9:00	受付					
	9:00～9:10	オリエンテーション					
	9:10～10:30	Q-U調査による児童生徒理解の基本的な考え方					
	10:30～12:00	返却されたQ-U調査結果の教育実践における活用のあり方					
12:00～12:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時						
研修に関して各自準備するもの	・特になし						
事前課題	・特になし						
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集要項に記載の携行品等をご持参ください。</li> <li>講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 <a href="mailto:rkawamata@edu.shimane-u.ac.jp">rkawamata@edu.shimane-u.ac.jp</a> まで、ご連絡ください。</li> <li>当日の駐車場は、鳥取県教育センターの駐車場をご利用ください。</li> </ul> <p>※本講座は、7月23日（木）山陰教員研修センターで実施する講座と同じ内容ですが、対面（集合型）でのみ実施します。</p>						